



みどりの風

平成24年10月2日発行
校報 第490号
〔みどりの風 第33号〕
練馬区立関町北小学校

今日の風、なに色？

校長 大野 泰弘

皆さんは、表題の言葉をどなたが語ったか、ご存じでしょうか。

今年度の読書感想文コンクールの課題図書である「ピアノはともだち」(こやま のりお著 講談社)の主人公、辻井伸行さんの言葉です。

辻井伸行さんは、生まれたときから視力を失っているにもかかわらず、2009年の第13回：ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで金賞を受賞(優勝)され、世界中の人々に大きな感動を与えたピアニストです。

今年の夏、その辻井伸行さんのお母様、辻井いつ子さんの講演を聴く機会がありました。

辻井さんがおっしゃるには、伸行さんが視覚障害者として生まれたとき、その現実を受け入れられず、「かわいそう」という気持ちで伸行さんに接しておられたそうです。しかし、「フロックスは私の目」という本を執筆された福澤美和さんとの出会いから、ほかの健常児と同じように接する大切さに気付き、それ以来、目が見えなくても、例えば花は見るだけでなく香りでも楽しめる、さわっても楽しめる、花火も音を体で感じとることだってできる、さらに、玉子焼きやタンポポが好きなの伸行さんに、「黄色のイメージとはこうなのよ」と想像しやすいように説明されてきたのだそうです。

そんな伸行さんの音楽の才能を初めて感じたのが、生後8ヶ月のころでした。プーニンの弾く「英雄ポロネーズ」に対して体を動かし、喜んでいる。同じ曲なのに、ほかの演奏家では何か機嫌が悪いらしい。その姿に、この子は演奏家による演奏の違いを聞き分ける耳をもっているのではないかと気付かれたのだそうです。

そして、テレビなどでも報道されていましたが、伸行さんが2歳3ヶ月のとき、辻井さんが歌っていたジングルベルの曲に合わせて、隣の部屋にいた伸行さんのおもちゃのピアノでその旋律を弾いていた、という出来事がありました。そのときの辻井さんは驚きとともに、「こんなことができる子なんだ」と喜びも感じられ、希望の光を見出されたのだそうです。

辻井さんは、わが子に一つでも好きなことを見付けてあげたい、それが心の慰めにもなるだろうから、と置いていらっしやっただけですが、この時、ピアノが伸行さんの未来を明るい光の方向へ導いてくれるものであると実感されたのです。

それからというもの、辻井さんの考え方に共感し、伸行さんの可能性を温かく見守り、育てようとする多くの方々との出会いを大切にされながら、伸行さんとピアノの時間を生み出してこられました。

辻井さんは伸行さんを育てるにあたって、ピアニストにさせたいわけではないので、本人が「やりたい」と言うまで待つ、演奏会後を含め、無条件に褒めることを大切にする(伸行さんは、「もし、お母さんから否定的なことを言われていたらピアノをやめていた」とおっしゃったそうです)、「…をしなさい」と上から目線では言わず、問いかけることを大事にする、ピアノをやったから何もさせてもらえなかったと思わせたくない、それで、好きなこと、やりたいことはピアノ以外でも何でもやらせる(実際、伸行さんは水泳、スキー、登山、乗馬等をされたそうです)、音楽家というよりも、心や感性が豊かな人に育てほしい、そんなことを大事にされてきたのだそうです。

辻井さんは、伸行さんを自然の中にも連れていき、自然の美しさ、すばらしさをたくさん伝えました。その結果として、表題にある「今日の風の色は何色なのかなあ？」と尋ねるほどの感性が育ったのです。伸行さんの音楽は、そういう感性をもって表現するので、奥行きが深く、味わいのある音が奏でられ、多くの人々の魂を揺り動かすのでしょう。「明るく、楽しく、あきらめない」をモットーにする辻井さんは、こうもおっしゃっていました。

「人間のもっている可能性のすばらしさをわが子に教えてもらいました。伸行が幸せで笑っている時間が多ければいいな、そう思って育ててきました。あなただったらできるよね、と応援し続けました。子どもの才能というか、可能性の芽を摘んでしまわないように、子どもにやる気さえあれば、いくつになっても可能性がある。親と子の信頼関係、私が絶対味方であると信じている。そのことは親も先生も同じでしょう。」(以上、平成24年度 財政経済セミナー 講演会より)

さて、今月19日には、お子様の1学期の学習や生活の状況をお伝えする「あゆみ」をお渡します。その見方についてはすでにお知らせいたしましたが、上記の辻井いつ子さんのお話(といっても、伺った内容のごく一部だけですが)も参考にされ、お子様のもつ可能性を見出す資料としてご活用いただければ何よりです。

ところで、私は、この夏、辻井さんのお話を伺ったあと、あらためて「ピアノはともだち」の本を拝読いたしました。

